



これまで携わってきた主な事業（鉄道建設関係）

<整備新幹線>



西九州新幹線



北陸新幹線



東北新幹線、北海道新幹線

<都市鉄道>



相鉄・東急 新横浜線

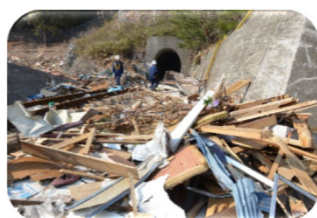


りんかい線



つくばエクスプレス

<災害復旧支援>



三陸鉄道 北リアス線（島越駅）



<青函トンネル>



先進導坑の貫通

アクセス

都営浅草線・都営大江戸線大門駅より徒歩4分
都営三田線芝公園駅より徒歩4分、JR浜松町駅より徒歩8分
〒105-0011
東京都港区芝公園2-4-1（芝パークビルB館）
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道技術センター
TEL 03-5403-8780

<https://www.jrtt.go.jp/>



※ 表紙の写真は、北陸新幹線 九頭竜川橋りょうです。

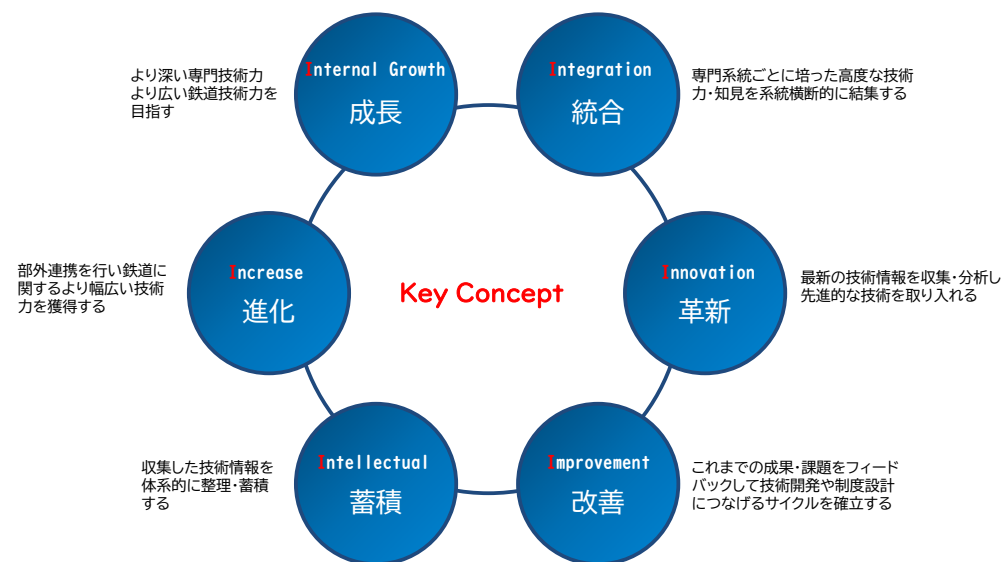
2025.4

鉄道・運輸機構
鉄道技術センター

Railway
Technical
Center



鉄道技術センターが大切にしている6つのI



JRTT

鉄道・運輸機構

2024年4月 鉄道技術センターを新設

- 鉄道・運輸機構（JRTT）は、「明日を担う交通ネットワークづくりに貢献する」という基本理念のもと、わが国唯一の鉄道建設に係る公的な技術者集団として、新幹線や都市鉄道の整備など、鉄道網の充実に貢献してきました。
- 近年、鉄道建設プロジェクトにおける協議・設計等の複雑化に加え、国内の自然災害の激甚化・頻発化、鉄道事業者・建設事業者等における技術者不足、DX・GXといった新たな取組など、鉄道を取り巻く環境が変化してきています。JRTTではこれまで培ってきた技術力を更に強化することでこれに対応するべく、2024年4月に鉄道建設関係部門の組織体制を改編し、鉄道技術センターを設置しました。



鉄道技術センターが目指すこと

鉄道建設に関する専門技術の結集による更なる鉄道建設技術の向上

- これまで培ってきた専門分野ごとの技術（土木、設備、電気）を結集することにより、JRTTが推進する鉄道建設プロジェクトを通じた更なる鉄道建設技術の向上を目指します。

鉄道“建設”技術から“鉄道技術”へ、技術力のスパイラルアップを実現

- 更なる鉄道建設技術の向上に加え、鉄道施設のライフサイクル（調査、計画、設計、施工、維持管理）を通じた鉄道技術を一元的に担うことで、時代のニーズに対応した鉄道システムの構築に貢献することも目指し、鉄道建設技術から鉄道技術へのスパイラルアップを実現します。

わが国の鉄道技術のプラットフォームとなる

- 「鉄道建設に関する専門技術の結集」、「鉄道建設技術から鉄道技術へのスパイラルアップ」に支えられたJRTTの鉄道建設に関する技術力を活かし、わが国の鉄道に対する社会的要請に応えた提案ができる鉄道技術のプラットフォームとなることを目指します。



西九州新幹線 長崎駅



白山総合車両所敦賀支所

鉄道技術センターの主な役割

鉄道整備事業への技術支援

- 鉄道技術センターの総合的な技術力を活用することにより、主に次のような技術支援を行っています。
 - 地方自治体などからの要請により実施する新線調査への技術支援
 - 北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）建設の円滑な推進を図るための技術支援



災害復旧などへの支援

- 地域鉄道事業者をはじめとしたわが国の鉄道技術者不足の中、激甚化・頻発化する昨今の自然災害により被災した鉄道に対して、災害復旧などの支援を行っています。
- JRTTが2023年に創設した鉄道災害調査隊（RAIL-FORCE）の一員として、鉄道事業者などを支援していきます。
 - ＜鉄道災害調査隊派遣実績＞
 - 2023年度：大井川鐵道、いすみ鐵道、小湊鐵道、くま川鐵道、のと鐵道
 - 2024年度：しなの鐵道、小湊鐵道
- 災害復旧支援での経験を、機構が実施する鉄道建設プロジェクトや鉄道事業者などへの技術的支援に広く活用していきます。



鉄道災害調査隊による被害状況の調査
（令和6年能登半島地震 のと鐵道）

組織的な技術蓄積、承継

- データセンターとしての役割を担い、収集した技術情報を体系的に整理、蓄積し、技術の開発、提供、承継に貢献します。

鉄道技術センターの組織図（2025年4月現在）

